

■生理検査科

○平成18年度目標

1. 医療事故の防止

- ・患者さまの取り違えの防止
- ・怪我の防止
- ・事務的ミスの防止

〈評 価〉

今年度のインシデント報告は計5件（レベル1が4件、2が1件）。

18年度は検査時の患者さま取り違えおよび結果報告時の名前間違いはありませんでしたが、他院から依頼されたホルター心電図の取り扱いにおいて検査結果の返送先を間違えるという事例が1件ありました。これについては、確認の徹底を促すことで同様のインシデントは起きていません。

また、移動時の転倒・転落事故はありませんでしたが、肺機能検査中に患者さまが検査機器にぶつかり切傷を負った事例があり（レベル2）、不意の動きによるものだったとはいえ、椅子に座って静止して行う検査中でも危険な場合があることが判明したので、検査の手順を見直し、このような危険を避けるものに変更しました。

このほか確認不足・思い込みによる事務的ミスも数件あり、確認方法の変更を行うなどの対策を取って再発防止に努めています。

2. 患者サービスについて

- ・患者さまへの気配り
- ・正しい言葉遣い、清潔な身だしなみ

〈評 価〉

検査中の室温管理や患者さまの様子に気を配ることが前年度に引き続き問題無く行われているようで、これらに関するクレームはありませんでした。ほか、言葉遣いなどの接遇面でも特に問題は起きていません。

3. 検査の「質」の向上

- ・感染の防止
- ・検査技術・知識の向上

〈評 価〉

感染防止に関しては、手洗いの励行、検査機器の清掃、消毒など、前年度同様自己チェック表による意識付けを行っています。

近年、心電図などのポータブル検査においてMRSA陽性の患者さまを検査する機会がかなり多くなってきておりますが、「院内感染防止対策マニュアル」に沿った検査方法をとることで検査機器および検者を介しての感染の防止に努めています。

検査技術・知識の向上については、ここ数年の課題であるエコー検査の研修が思うように進められず、足踏み状態となってしまいました。更に、研修対象だったスタッフの1名が年度末で退職したため、19年度は再び最初からやり直すこととなりました。新入職員は新卒者のため、エコーだけでなく検査全般に対する教育を行う必要があります。まずは育成に時間のかかるエコーではなく、他の検査を学んでもらうことで一日も早く検査受入体制を整え、検査の「質」をこれまでと同じレベルにまで向上させることを第一の目標と考えています。業務に慣れ、疾患や検査に対する理解が深まったのちに改めてエコー研修の開始を検討する予定です。

○参加した講習会・研修会

- 18年4月8日 日本消化器集団検診学会北海道支部 第4回超音波部会
6月10日 血管・消化管超音波セミナー ①「血管エコー検査法～腎動脈、下肢動静脈検査の実際」
②「消化管エコー入門～消化管エコーの基本」
30日 第41回札幌心電図懇話会 「心電図から突然死の危険性を考える」
7月15日 日本超音波検査学会北海道支部 第5回地方会 「検診超音波検査のスタンダード」他
19日 第145回臨床検査講座 心電図シリーズvol.2 「ペースメーカー心電図」
9月9日 消化管エコーセミナー 2006 in 札幌 「急性腹症へのアプローチ」
22日 第147回臨床検査講座 心電図シリーズvol.3 「睡眠時無呼吸症候群とECG異常」
11月18日 第4回北海道感染症対策セミナー 「話題の耐性菌と長崎における感染対策」他
30日 第149回臨床検査講座 心電図 CASE STUDAY vol.4 「陰性T波を考える」
19年1月27日 第6回臨床検査セミナー 乳腺シリーズvol.2
「乳腺の超音波診断～走査法から診断まで・超音波像と組織像の対比～」
2月1日 第151回臨床検査講座 心電図 CASE STUDAY vol.5 「ST上昇を考える」
3月10日 日本超音波検査学会北海道支部 第6回地方会
「Vascularのスタンダード～下肢血管エコー検査～」
15日 第154回臨床検査講座 心電図 CASE STUDAY vol.6 「心電図で病態を診るⅢ」
24日 第11回札幌心電図懇話会・札幌臨床生理談話会合同講演会
①「循環器領域の最近のトピックス」
②「不整脈について」

このほか、院内で行われた各委員会主催の研修会には全て参加しています。

○検査実施件数（別表を参照ください。）

17年度と比較したところ、ほぼ同等か増加しており大幅に減少したものは認められません。

18年度の傾向としては、循環器に関する項目が増えており、特に負荷心電図検査（マスター2階段法・歩行）が著増しています。これは、南三条病院から手術前精査のために受診する方が増加したためと思われます。また、骨密度検査および血圧脈波検査数も順調な伸びが認められます。骨密度検査は「血管ドック」開始に伴う増加ですが、血圧脈波検査はドックよりも通常の診療においてオーダーされる率が高く、動脈の硬化、狭窄、閉塞の早期発見・診断を行う上で欠かせない検査となっております。

このほかの傾向としては、心電図、エコーなどの検査をポータブルで（病室で）行うことが増えています。

検査機器数に限りがあるため、検査時間を調整するなどして対応しております。個室のみならず、大部屋や透析室での検査要請もあり、大型機材を用いるエコーなどは機器の搬入・設置に苦慮することもありました。18年度は内シャントのPTAにもエコーを併用するなど、様々な場面でエコー検査の需要が高まっていることから、今後はポータブルに適した小型機器の導入も検討・提案していきたいと思っております。

○これからの展望

19年度はスタッフの変動に伴って新卒者が入職したこともあり、各検査についてしっかりと教育するとともに、他の者もこれを機会に基本的な部分を再確認して、より良い検査結果を臨床側に提供していきたいと思っております。

文責 吉田 紀子

	17年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		18年1月		2月		3月		17年度総計	
	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入
心電図	260	106	156	82	178	99	172	58	139	53	161	78	265	113	155	107	157	94	185	124	180	108	248	138	2256	1160
負荷心電図マスター	6	5	11	5	14	0	13	9	16	1	18	1	19	3	18	0	15	1	15	4	10	5	30	3	185	37
トレッドミル	5	9	3	4	6	5	1	3	5	2	3	3	2	2	1	1	3	2	3	3	2	5	3	5	37	44
ホルター心電図	17	19	24	14	19	12	15	13	12	7	11	8	10	7	10	8	9	5	11	8	14	6	14	19	166	126
心エコー	42	60	43	49	45	57	39	38	48	34	42	36	43	40	29	44	35	38	30	48	31	37	45	48	472	529
腹部その他のエコー	37	26	21	22	52	38	63	27	37	31	52	35	57	25	44	30	34	21	21	34	31	36	30	41	479	366
眼底カメラ	7	0	6	1	8	1	3	1	15	2	24	8	14	3	13	4	9	3	6	5	5	6	21	6	131	40
肺機能ルーチン	25	14	40	13	30	9	27	8	24	10	19	17	29	11	26	18	23	5	21	8	14	13	27	12	305	138
残気量	20	11	30	13	27	8	24	8	21	10	16	12	21	9	20	13	21	2	18	2	9	8	22	7	249	103
拡散能	20	13	30	11	26	7	24	8	20	10	16	11	21	9	19	13	21	2	18	2	9	7	21	5	245	98
改善率	6	3	6	0	2	0	1	0	0	0	2	0	2	0	2	0	0	0	1	0	2	0	2	1	26	4
肺機能 TOTAL	25	16	40	13	30	9	27	8	24	10	19	17	29	11	26	18	23	5	21	8	15	13	27	12	306	140
穿刺		0		4		3		1		3		0		1		0		1		0		1		0		14
心臓カテーテル		14		8		5		9		5		8		10		8		5		10		6		5		93
骨密度測定	4	3	8	1	11	0	5	1	9	1	3	1	8	0	8	0	4	0	7	2	10	2	7	2	84	13
血圧脈波検査	14	2	14	1	19	2	9	2	14	2	6	1	19	0	14	2	8	0	14	2	18	3	20	2	169	19
合計	463	285	392	228	437	246	396	186	360	171	373	219	510	233	359	248	339	179	350	252	335	243	490	294	4804	2784
院外ホルター解析	29		19		18		23		16		18		22		25		13		25		16		17		241	
PSG検査	12		8(9)		14		10		10		10		16		11(13)		10(11)		12		12		11(12)		136(141)	

*PSG検査の () は業者担当分を含む数